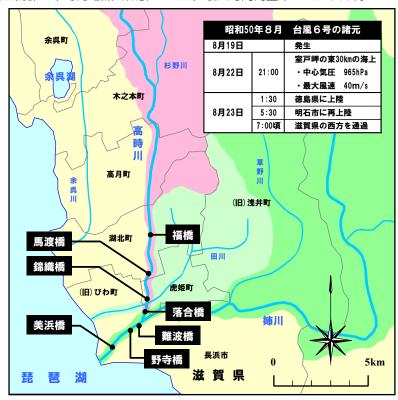
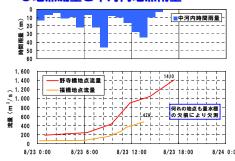
昭和50年8月23日 台風6号

昭和50年の台風6号による姉川・高時川の出水では、量水板(水位を計る目盛付きの板)が流されたため流量の観測ができていませんが、福橋地点で800m³/s以上、野寺橋地点で1,600m³/s以上であったと推定されます。雨量は最上流部の中河内地点で累計356mm、最大時間雨量は46mmでした。



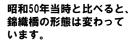
台風6号による洪水では、余呉町上丹生地先や下丹生地先で浸水被害が起き、虎姫町やびわ町(現、長浜市)でも水位が上昇して堤防の漏水が発生しましたが、必死の水防活動によって大被害をまぬがれています。

●地点流量と中河内地点雨量



台風6号(S50) 出水時の状況①





●平常時の錦織橋





●平常時の状況





昭和50年当時と比べると、 落合橋の欄干部分の形態 は変わっています。

●平常時の落合橋



台風6号 (S50) 出水時の状況②

警戒水位を超える難波橋

昭和50年当時と比べると、 難波橋の下流側に歩道橋 が増設されています。

●平常時の難波橋





●平常時の野寺橋





●平常時の美浜橋下流



台風6号 (S50) 出水時の状況③

●田川カルバート付近の状況





●錦織地区での水防活動(堤防からの湧水防災作業)







●馬渡橋〜錦織橋左岸での水防活動





台風6号 (S50) 出水時の状況④

●高時川右岸 錦織地区の堤防崩壊状況





●堤防からの湧水状況





●高時川右岸 防災状況



●消防ポンプによる排水作業



台風6号 (S50) 出水時の状況⑤

●野寺橋上流右岸側の漏水



●野寺橋の水位



●美浜橋下流の養魚施設冠水状況



●姉川最下流 大浜地区の浸水状況

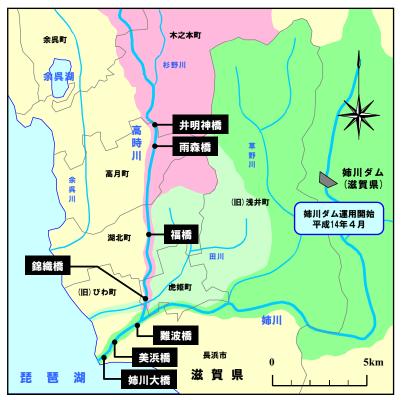




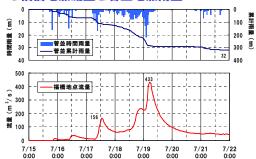
平成18年7月19日 梅雨前線

平成18年7月15日夜に梅雨前線の活発化に伴って降り始めた降雨は、21日までに菅並地点で累計320mmに達しました。

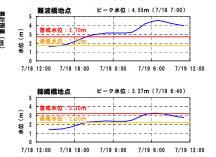
福橋地点での最大流量は433m³/sにのぼりました。また、錦織橋の水位は、3.27m、難波橋の水位は4.55mに達しました。



●福橋地点流量と菅並地点雨量



●難波橋及び錦織橋の水位



梅雨前線 (H18) 出水時の状況①



●平常時の井明神橋上流





●平常時の雨森橋下流

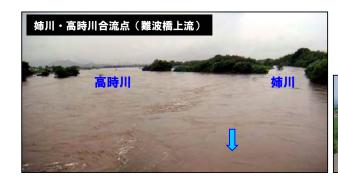




●平常時の福橋



梅雨前線 (H18) 出水時の状況②



●平常時の合流点





●平常時の美浜橋下流





●平常時の姉川大橋上流



梅雨前線 (H18) 出水時の状況③

●馬渡橋~錦織橋左岸(虎姫町唐国)



●錦織橋上流右岸



●高時川右岸 錦織地区グラウンドからの湧水





●高時川右岸 姉川大橋上流の水防活動



